

令和元年度 中大規模木造普及シンポジウム 事例報告会 サステナブル建築物等先導事業（木造先導型） 事業概要

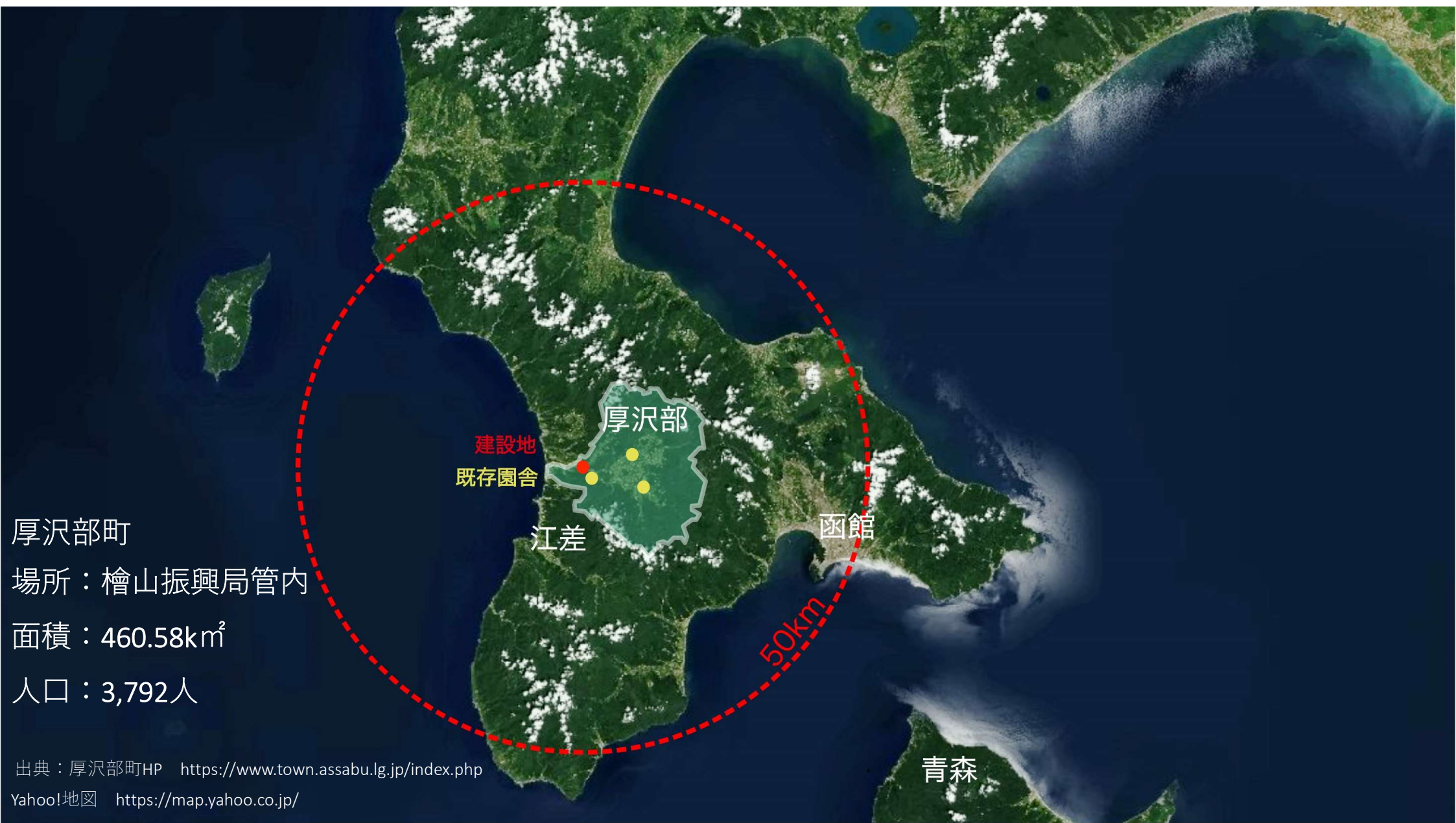
1 プロジェクト名	厚沢部町認定こども園		8 建物用途・規模	軒高： 6.79m、 高さ： 7.25m 階 数:地上 1階、地下 階 (うち補助対象部分)
2 提案者 (=建築主)	氏名	厚沢部町 町長 渋田正己	9 建築物の構造	■軸組工法 □枠組壁工法 □CLTパネル工法 □その他の工法()
3 建設地	※市町村までを明示 北海道厚沢部町		10 建築物の 防火性能	(建設地の地域区分) □防火地域 □準防火地域 □22条区域 ■その他地域 (地域区分や建物用途・規模等により必要となる建築物の防火性能等) □耐火建築物 □準耐火建築物 (60分) ■準耐火建築物 (45分) □その他() (今回提案する建築物の防火性能等) □耐火建築物 □準耐火建築物 (60分) ■準耐火建築物 (45分) □その他()
4 発表者	会社・所属	株式会社アトリエブンク・設計部	11 施工時の課題・工夫点について(※簡潔に記載ください) 木材流通ルートを注意深く監理。厚沢部町の伐採現場及び、道南加工工場である八雲町の集成材加工工場、森町のプレカット工場を役場職員と共に確認し、住宅建設サイクルの延長線上に、中規模木造建築物建設が可能であることの知見を広めた。	
	氏名	長島綾子		
5 採択年度、 採択日	平成29年度採択、採択日：平成29年12月28日			
6 竣工年度、 竣工日	平成30年度竣工、竣工日：平成31年3月5日			
7 設計者・施工者 ・技術の検証者	設計者：	株式会社アトリエブンク	12 木造化についての施主からの評価(※簡潔に記載ください) 厚沢部町産材使用が町内外へのアピールポイントとなり、過疎化が進む町の人口増加が期待される。また、外壁耐火採用による内装木質化により、北海道の厳しい気候により屋内活動が多くなることもたちが、自然の木の香りを感じながら過ごすことが可能。	
	施工者：			
	技術の検証者：			
8 建物用途・規模	□事務所 □店舗 □共同住宅 □学校 □幼稚園 □保育所 □体育館 (武道場) □集会場 □宿泊施設 □文化施設 □病院 □診療所 □特別養護老人ホーム □その他の福祉施設 ■その他(幼保連携型認定こども園) 敷地面積： 6,300㎡ 建築面積： 1,652㎡ 延べ面積： 1,480㎡ (うち補助対象部分の面積： 1,480㎡)			
			※上記記載内容はパワーポイントで作成された発表資料内にご記載ください 最終ページ	

厚沢部町認定こども園

『地域の生産資源を活かす』

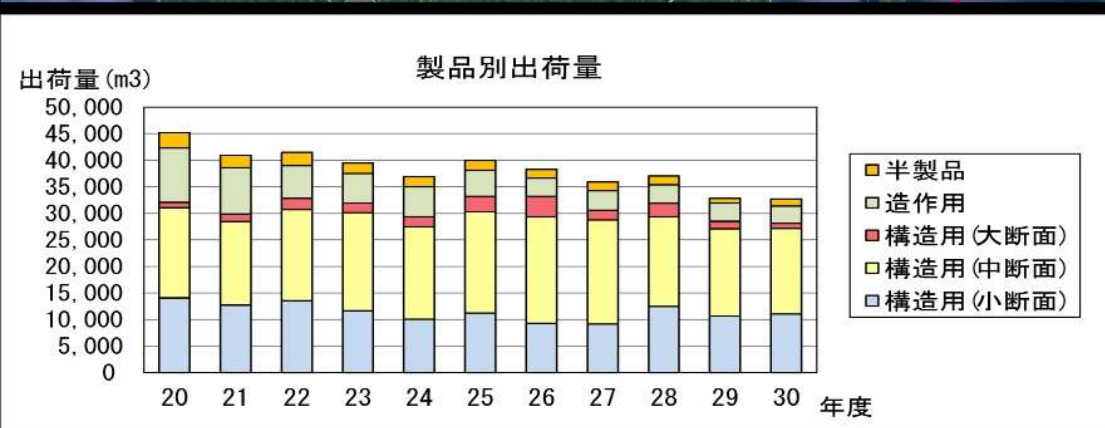
撮影：佐々木郁弥





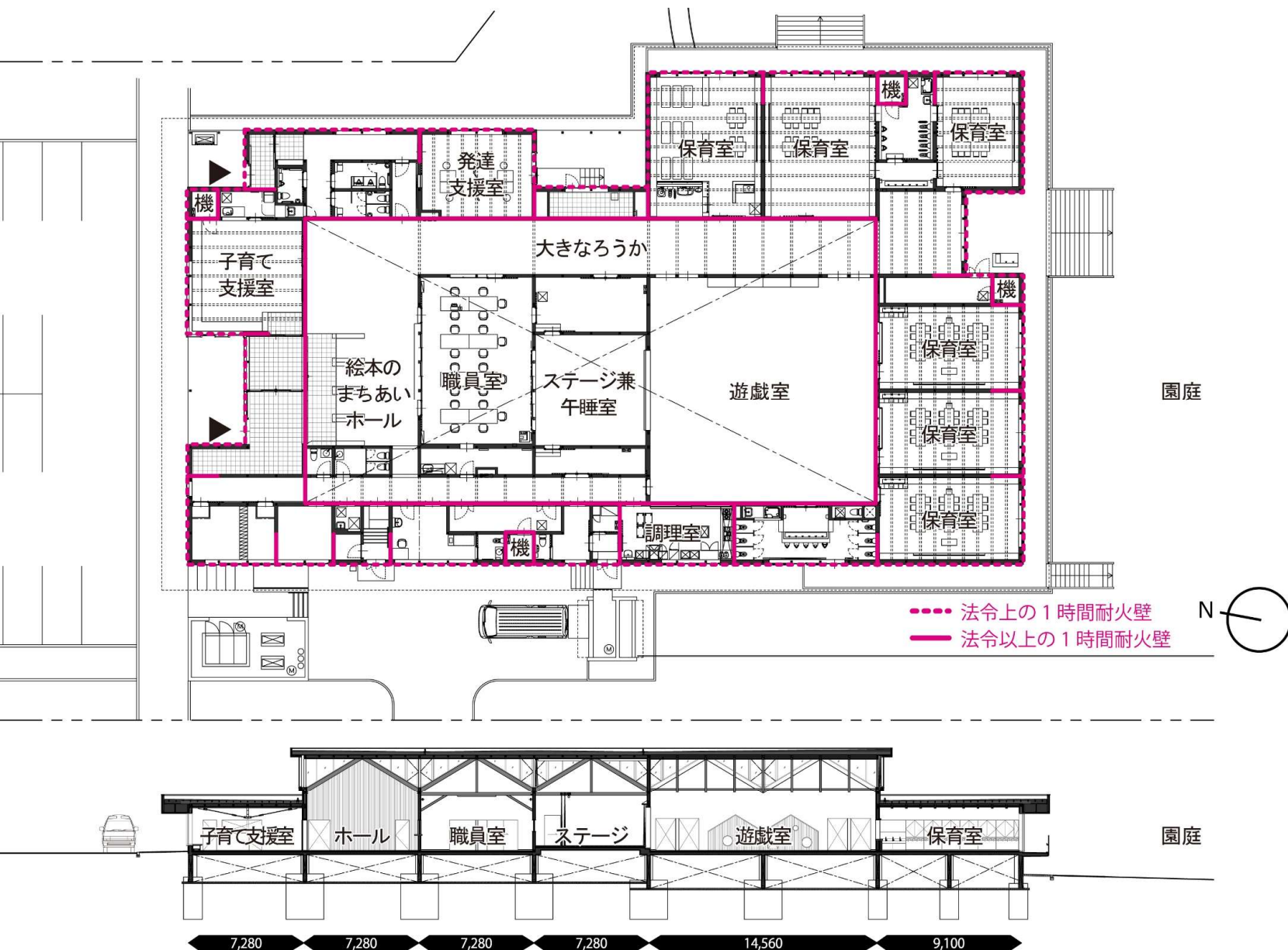






出典：北海道水産林務部林業木材課 平成30年度 集成材工場実態調査結果
 Yahoo!地図 <https://map.yahoo.co.jp/>





1 木造耐火構造壁(図1)

平成12年建令第1399号の仕様規定による
 木造耐火構造壁→地域の技術で実現可能

